

整理番号	31001
評価対象年度	令和3年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和2年12月7日
事業担当課	観光推進課
担当者・内線	吉田・5721

《基本情報》

事務事業名	地域観光資源創生事業費		<input checked="" type="checkbox"/> 新規
			<input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	A3 交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します		
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	まちが	より多くの来訪者や市民で賑わっている。	
個別施策	A3-1 長崎独自の観光資源を掘り起こし、磨きます		
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	観光資源が	磨かれ、活用されている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメや漫画の舞台となった地や作者ゆかりの地を旅行するアニメツーリズムについては、日本のサブカルチャーとして海外でも人気を高めており、内閣府や観光庁も推進している。 ・長崎市においては、これまで、積極的なアニメツーリズムの推進を行っていないのが現状である。 ・2008年から発行されている「弱虫ペダル」は総発行部数2,500万部以上の人気作品であり、作者は長崎市出身である。 ・漫画「弱虫ペダル」は長崎市にとって優位性がかなり高いコンテンツであるため、このコンテンツを活用することで、観光客の誘客を図ることができるものであるが現状においては活かされていない。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの観光客が「弱虫ペダル」のコンテンツをきっかけに長崎市を訪れ、滞在・周遊している。
課題(どういことをする必要があるので)	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎市出身である「弱虫ペダル」の漫画家・渡辺氏とコラボし、希少性の高いコンテンツ(原画展やデザインマンホールの活用等)を長崎市で展開することにより、誘客促進を図る必要がある。 ・また、漫画「弱虫ペダル」は、自転車を題材とした漫画であるため、自転車を活かした観光を展開し、自転車ユーザーや弱虫ペダルファンを取り込み、来訪者の周遊を促進しなくてはならない。

上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	<p>長崎港開港450周年記念連携事業として、長崎市出身の漫画家(渡辺航氏)の人気漫画「弱虫ペダル」(秋田書店)とコラボし、長崎市の新たな魅力的な観光コンテンツの造成を図り、観光客の誘客及び周遊の促進を図る。</p> <p>【事業期間】 令和3年度</p> <p>【総事業費】 21,013千円 (地方創生推進交付金充当予定 補助率:国1/2)</p> <p>【事業内容】</p> <p>①開港450周年記念事業「弱虫ペダル企画展」14,877千円 作者・渡辺氏の協力をいただき、人気漫画「弱虫ペダル」の肉筆原画や資料等を展示する企画展を長崎市で開催する。</p> <p>②「弱虫ペダル」デザインマンホールを活用した周遊の造成 13,769千円 「弱虫ペダル」デザインマンホールを製作し、市内(広域)21カ所に設置する。設置したマンホールを基に、景観等地域の魅力を活かした周遊コースを6コース設定する。また、スマホを活用したスタンプラリー(抽選で景品のプレゼント)を実施する。</p> <p>(デザインマンホール設置場所:市内21箇所(6コース))</p> <p>③デザインマンホール完成・コラボ記念ライド 1,915千円 渡辺氏の生家がある東長崎地区に設定されたサイクリングコースの一部において、渡辺氏や関係者・サイクリング団体と記念ライド(イベント)を実施(試走)する。</p> <p>④開港450周年記念事業「渡辺航氏講演会」476千円 教育委員会と連携し、渡辺氏の地元の中学校で記念講演会を実施する。</p>						
	業務量の増減	+155時間					
	市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 サイクリングを実施する団体と協働して、新たな観光資源の活用を図る					
	事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)					
予算額	金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源	
	当年度	21,013	10,506			10,507	
	総額						
	財源名称	地方創生推進交付金					
成果(活動)指標	指標(単位)	観光客数					
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標値	現在、長崎市観光・MICE戦略にて目標値を策定中					
	成果指標及び目標値の説明	本事業を実施し、県内外へPRすることにより、多くの来訪者が訪れることを主目的とするため、成果指標とする。					

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由

<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業統廃合	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 事業規模拡大	<input type="checkbox"/> 事業規模縮小
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			

(2) 評価会議における指摘事項

総発行部数2,500万部以上の人気作品である漫画「弱虫ペダル」の作者・渡辺航氏が長崎市出身であることから、原画展の実施やデザインマンホールを活用した周遊路の設定など、「アニメツーリズム」という新たな観光コンテンツの観点から、観光客の誘致を図るものである。

漫画「弱虫ペダル」というコンテンツをきっかけとして、長崎市の新たな魅力となる地域・観光資源の掘り起こしとなり、多くの観光客が長崎を訪れ、滞在や周遊の促進につながることから、事業の実施は適当である。

ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。

【その他の意見】

- ・様々な周遊パターン(徒歩、自転車、車など)を想定した周遊コースの設定であることを分かりやすく示すこと。
- ・車道を走る自転車が増加することを踏まえ、交通安全の観点から、サイクリングコースについては道路管理者との調整を行うこと。